

長泉麗峰山の会・山行報告書	文・写真 後藤
山行番. NO. 2037A	
日 時 2024年4月06日(土) 晴・無風	
山 域 上信越・根子岳(2128m) 山岳スキー	
コース 奥ダボス第1トリプルリフト 5:47-リフト山頂 6:17-牧場-避難小屋 7:17-稜線 8:28-根子岳山頂 8:50-滑降-83歳の桶田さんに会う 10:15-リフト山頂 10:33-奥ダボス 11:08	
標高差 奥ダボスリフト約1435m~根子岳2207m=約772m	
難易度 非常に困難 困難 やや困難 <b>レ普通</b> やや易しい 易しい	
<b>やっぱり、スキーはサイコーだ！！</b>	
ど〜が〜 <a href="https://susono-reihou.babyblue.jp/00-48mp4.mp4">https://susono-reihou.babyblue.jp/00-48mp4.mp4</a>	
参加者 後藤、加藤=2名	

根子岳は、1984年に上って以来だった。元々、なだらかな山で、わざわざ？上る山でもなく、四阿山(2354m・深田百名山)のアプローチとして上られることが多い。ただ、なだらかな故、山岳スキーには適している山である。

信州で山岳スキーを頑張っている、「ぶなぼう」さんのHPに、根子岳西面の美味しい記事があった。スキーで上っていないので、是非、経験したかった。ただ、今年は、確かに雪が少なかった。



奥ダボス



スキー場

早朝、取り付きの「奥ダボス・スキー場」を目指したが、実に分かり難かった。結論から言うと、その取り付きは、「上田菅平高原グランヴィリオGC」内にあり、時間外は、お城にあるような、鉄製の大きな門を開けなければ入れなかった。

我々は、事情が良く分からないので、ガチャガチャと、門のチェーンを外し、門(かんぬき)をずらし、まるで「野盗」の如く、ゴルフ場内に侵入した。今、考えると、警察に通報されたら、ヤバかったかも。

しかし、「ぶなぼう」を改めて読んだら、「既に営業は終了し、ゴルフ場の門から先に入

れません。ということで、成り行きで 1492m の三角点のある広場から歩き始めることになりました」とあった。つまり、彼らは「強行突破」は、しなかった訳です。我々とは、違う「紳士」だったので。(笑い)



目立たない避難小屋



霧氷

ともかく、奥ダボスから出発。ゲレンデの雪量はマアママだった。簡単に山頂到着。ここから平坦地が続いた。夏は牧場らしく、牛の糞がたくさん落ちていた。

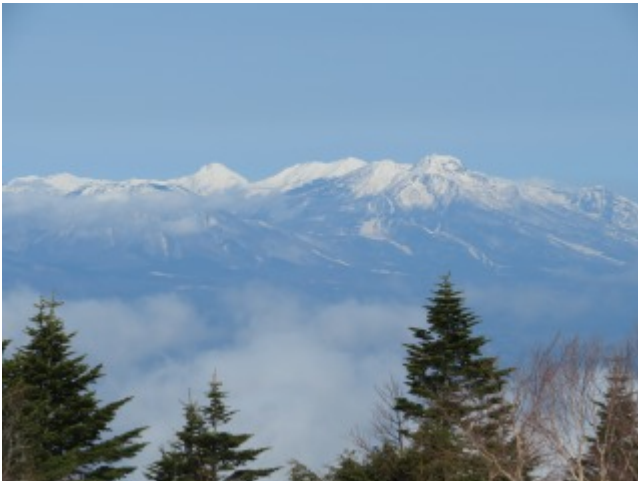
牧場を抜けると柵があり、傾斜が増して山らしくなった。一週間前のネットに比べると雪は少なくなり、やや笹が出ていた。避難小屋があったが、壁・屋根が目立つ色でなく、あれでは、悪天候時、分かり難い。

天気は次第に良くなり、朝隠れていた山頂が見えて来た。背後に、北アルプスが連なっていた。簡単に、小根子岳コルに上り、山頂に向かった。早朝、山頂付近は霧が掛かっていた。それが、樹木に「霧氷」を飾り、朝日に光っていた。

右上手に祠が見えた。山頂だった。その向こうに、大きな四阿山（あずまやさん・2354 m・深田百名山）が鎮座していた。脇に小さな「鐘（小梵鐘？）」が下がっていた。すかさず、ストックで鳴らした。「カ〜ン・カ〜ン・カ〜ン」三回鳴らした。仏教で三回は「現在・過去・未来」を表す。小さく開経偈（かいきょうげ）を唱えた。



根子岳山頂から四阿山



左から、焼山・火打山・妙高山



長野・松井田山岳会、桶田さん

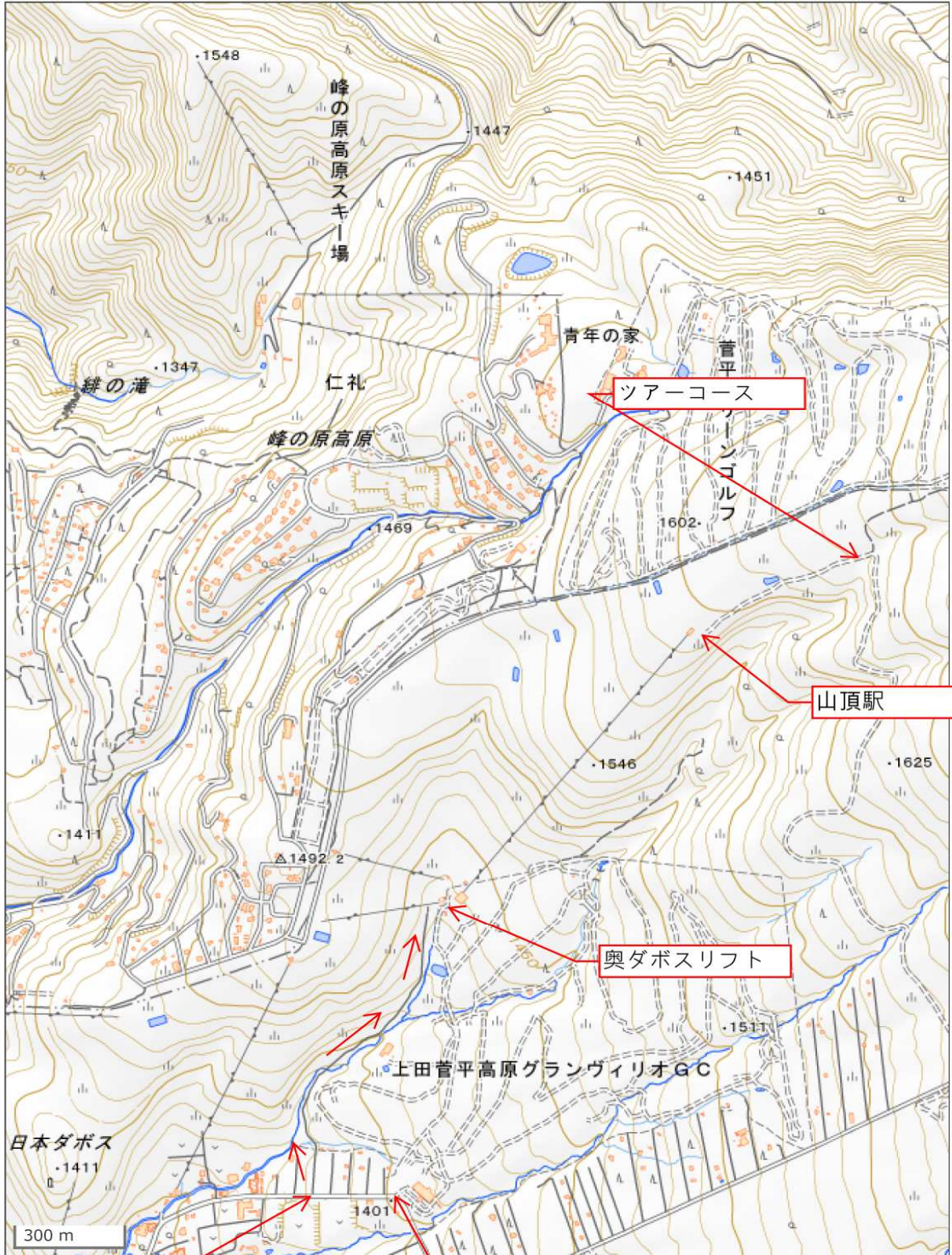
下山して、直下で昼食・休憩。お汁粉が美味かった。正面に妙高連山が大きかった。直下から滑降。雪は多くないが、滑りはマアア。本当に久しぶりのスキーだったが、問題はなかった。やっぱり、「スキーは、楽しい～、素晴らしい～！！」

途中で私より年配の方と歓談。長野・松井田山岳会の桶田さんだった。御年 83 歳。今回は完全に脱帽。また、目標が出来てしまった。装備は、板・ビンディング・靴が軽量化で最新のモノだった。

以後、快適に滑ってお終い。今期、スキーをもう少し頑張りたいと思った。

# 地理院地図

GSI Maps



ツアーコース

山頂駅

奥ダボスリフト

ここが正規の道？

ゴルフ場正門